

4月27日、当館領事は、ノースカロライナ州立大学シャーロット校にて、日本語を勉強しているK-16グレードの児童・生徒・学生が一同に会し、日頃の学習の成果を発表するイベント「第1回ふれあい日本語」に来賓として参加させて頂きました。



E.E. Waddell Language Academy 幼稚園による
「チューリップの歌」

このイベントは、ノースカロライナ州立大学シャーロット校言語文化学科及びシャーロット日本語教師会の共催により開催され、シャーロット地区に所在するE. E. Waddell Language Academy、South Mecklenburg High School、West Mecklenburg High School、そして、University of North Carolina at Charlotte から合計約80名が参加し、歌、詩、演劇、プレゼンテーション等を通して、会場に詰め掛けた家族等の前でそれぞれ発表が行われました。



E.E. Waddell Language Academy 2年生による
「クラスの詩」

グレード別に行われた発表では、各学校の日本語の先生方が中心となって、この日のために毎日重ねてきた研究や練習の成果が参加した児童等によって披露され、その内容の素晴らしさに会場は終始拍手と歓声に包まれました。

また、キズナ強化プロジェクトや留学による訪日経験者からは、それぞれの体験談が発表され、実際に日本に行き日本を見て肌で感じることの重要性を強調しつつ、更なる自己研鑽を誓っていました。

最後には、本件イベントの準備、運営を中心となって行ったノースカロライナ州立大学シャーロット校加藤富美江教授が講評を行い、参加者全員の努力、健闘を称えとともに、今後も引き続き日本語の勉強を頑張りたい旨挨拶がありました。



加藤先生



E.E. Waddell Language Academy
3年生による「3年生の一日」(左)、
8年生による「まきの大冒険」(上)



発表を行う South Mecklenburg HS の Blackwell さん(左上)、
West Mecklenburg HS の Chanthabandith さん(右上)、
UNCC の Frazier さん(左下)、UNCC の Moore さん(右下)



イベント冒頭に挨拶する UNCC 言語
文化学科長の Dr. Reimer



司会を務めた Bollinger さんと MacPherson さん